みなさん、私たちは「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。労働者や中小業者、農民、女性、医療、法律、反核平和団体などが力を合わせて、憲法を守り生かそうと運動を進めています。

本日は、この場をお借りして、憲法改悪に反対する宣伝と、「憲法改悪を許さない全国署名」に取り組んでいます。ぜひ、ご協力をお願いします。

みなさん、

いま、岸田政権に厳しい目が向けられています。短期間で40万を超える反対署名が集まったにもかかわらず「国葬」を強行したことや、統一協会との深い関係が指摘される閣僚の任命や問題発覚による辞任。物価高騰に対する対応の鈍さと大企業・富裕層重視の経済政策の継続など、岸田政権の政策全体を市民が批判し、内閣支持率は落ち続けています。

このような世論が広がっているにもかかわらず、岸田政権は安倍政権以来の大軍拡と改憲、新自由主義の経済政策を強引に進めています。

岸田首相は年内に、国家安全保障戦略、防衛計画大綱、中期防衛力整備計画などの改定を表明し、「敵基地攻撃能力」を持つといって長距離ミサイル1000発以上の保有、5年間で軍事費を対ＧＤＰ比2％以上、10兆円以上に引き上げる大軍拡を強行しようとしています。

敵基地攻撃能力の保有は、専守防衛というこれまでの政府の解釈さえふみにじる憲法違反の行為であり、日本を戦場にする危険極まりないものです。

日本が軍事力を強化すれば、北朝鮮も中国もさらに対抗し、軍事対軍事の悪循環、戦争への危険を高めるだけです。絶対に戦争は起こさせない、それが政治の責任です。そのために平和外交に力を入れるべきです。外交は、国家間の話し合いです。外交はアメリカまかせ、防衛はアメリカいいなり、こんな政治はごめんです。憲法9条にもとづく平和外交こそ日本がとるべき道ではないでしょうか。

大軍拡のために、社会保障費や教育予算などがしわ寄せを受ければ、ただでさえ、コロナ禍や物価高騰で疲弊している私たちのくらしはさらに困難となります。大軍拡ではなく、くらしと福祉に予算をまわせと政治に求めていきましょう。

いま、「憲法改悪を許さない全国署名」へのご協力をお願いしています。どうぞ足を止めていただき、軍拡よりくらしを守れの願いをお寄せください。

みなさん、

ウクライナ危機に便乗した憲法改悪の動きも重大です。

「9条への自衛隊明記」「緊急事態条項の創設」といった物騒な改憲案が、臨時国会から来年の通常国会にかけて、一気に具体化される危険があります。

みなさん、自民党の最大のねらいは憲法9条を改悪することです。憲法9条への国民の支持が高く、ハードルが高いので、「自衛隊違憲論」に決着をつけると言って、「自衛隊明記」による９条改悪をねらっているのです。

この12月にもまとめられる安保三文書の改定は、実質改憲そのものであり、その先には、憲法9条の明文改憲も射程に入れられているのは明らかです。

もし、「自衛隊」が憲法に明記されれば、国民が国家権力に対して「戦力の保有とその行使の権限を与えた」ことになります。そうなれば、例えば日本と軍事的に対抗する国が核兵器を保有している事実があった場合には、核兵器の保有や核武装も検討されるでしょう。

2016年、安倍政権のもとで横畠（よこばたけ）内閣法制局長官は、参議院予算委員会で「憲法上、あらゆる種類の核兵器の使用がおよそ禁止されているとは考えていない」と述べました。

みなさん、ロシアのプーチン大統領による核兵器使用の威嚇を受けて、核兵器禁止条約を力に核兵器廃絶にすすもうという動きがひろがっています。いま核兵器禁止条約の署名国は91か国となり、193の国連加盟国の半数に近づいています。

安倍、菅政権も、岸田政権も、被爆国の政府でありながら核兵器禁止条約に背を向け続け、アメリカの「核の傘」に依存し続けています。

岸田政権による憲法改悪を許さず、憲法9条にもとづく平和外交、核兵器禁止条約に参加して、世界の平和と安全に貢献する日本を実現しましょう。

いま、「憲法改悪を許さない全国署名」へのご協力をお願いしています。どうぞ足を止めていただき、みなさんの平和への願いをお寄せください。

みなさん、日本の民主主義が壊され始めています。

国民の6割が反対していた「国葬」の強行、統一協会と閣僚・自民党の政治家・政策との関与を個人の問題にわいしょう化する無責任な姿勢、物価高騰で苦しむ国民生活は自己責任と言わんばかりの無策ぶり、健康保険証の原則廃止を公表し、取得は任意としてきたマイナンバーカードの事実上の強制取得の動き、中小業者・フリーランスを廃業に追い込みかねない消費税インボイスの導入など国民の声を聞かずに強行する構えです。岸田内閣に民主主義の姿はありません。

みなさん、民主主義を取り戻すため、ご一緒に声を上げようではありませんか。みなさんの平和、民主主義への願いを「憲法改悪を許さない全国署名」へどうぞお寄せください。